



WonderLab

ワンダーラボ 株式会社

金 成東

Mission

世界中の子どもが本来持っている 知的なわくわくを引き出す

1

デジタル教材 開発・運営

通信教育サービス「ワンダーボックス」や思考力育成アプリ「シンクシンク」、中学受験算数に特化した「究極の立体」シリーズなど、デジタル教材の開発・運営を行なっています。
音楽制作を除き、全てを自社開発しています。

2

書籍監修

Amazonベストセラー、累計70万部を発行する算数脳パズル教材「なぞペ〜」シリーズをはじめ、様々な問題集やドリル、知育や育脳カテゴリの書籍を手がけています。

3

授業サービス 企画・運営

STEAM教育領域、その中でも特に思考力育成に特化した特別授業の企画・運営を行っています。アプリやプログラミング教材、動画コンテンツ、ボードゲームなど、多彩な教材で子どもたちが躍動します。

4

原案提供 コラボレーション

小学館「小学一年生」にて、ポケモンを用いたクイズ企画連載、プログラミング連載への問題提供・監修。
ポケモン社のYouTubeチャンネル「ポケモンKidsTV」の知育動画シリーズへの原案提供・監修など、他社との協業にも取り組んでいます。



Think! Think!

- 思考センスの5大要素 -



思考センスとは、抽象的な思考力の土台となる、イメージ力。この思考センス（＝イメージ力）を「空間認識」「平面認識」「試行錯誤」「論理」「数的処理」の5分野に分類し、それぞれのカテゴリにフォーカス。

特に、10歳くらいまでに大きく伸びる「空間認識」「平面認識」、また、何事に取り組むにも重要な要素である「試行錯誤」の各分野に優先的に取り組めるカリキュラムを提供します。

思考力が育まれる良問を**100種類15,000問以上**収録

カンボジア “負の遺産”



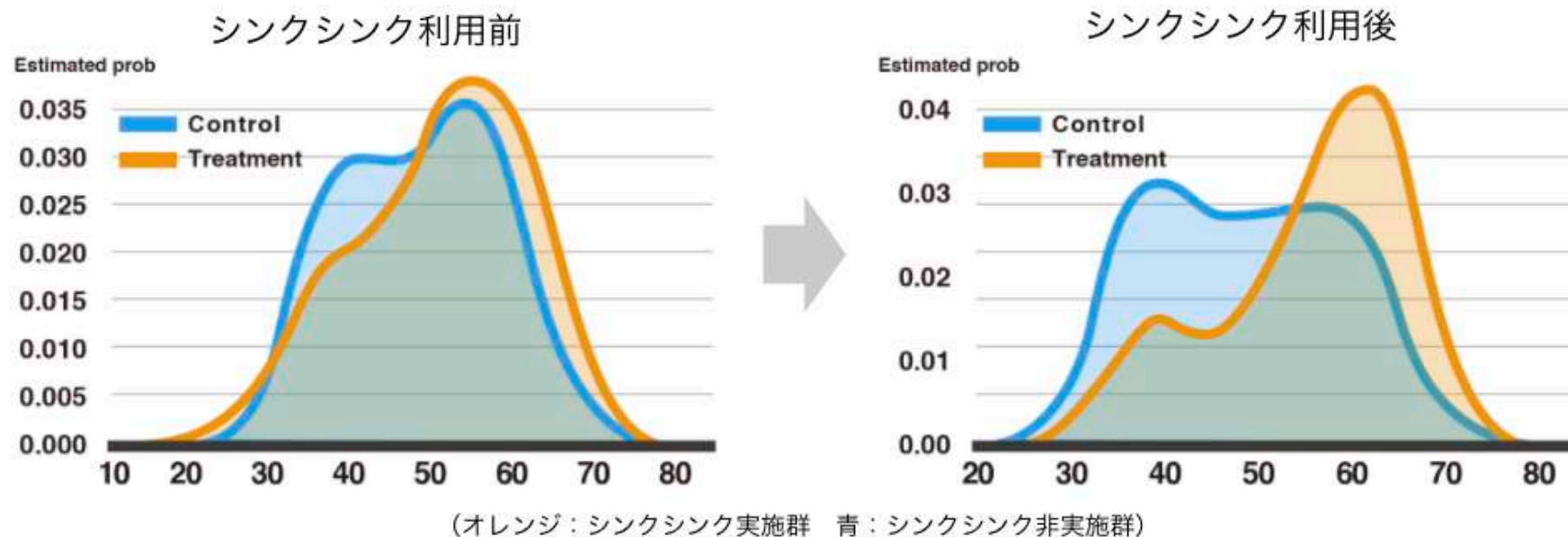


慶應義塾大学・総合政策学部教授
中室牧子先生による外部評価
(著書:「学力の経済学」)

- 枠組み： 2017年度第2回 中小企業海外展開支援事業～案件化調査～
(※現、中小企業・SDGsビジネス支援事業)
- 対象児童：1,636名 (小学1～4年生)
- 評価期間：3ヶ月間
- シンクシンク実施群と非実施群に分けて比較 (ランダム比較化試験)

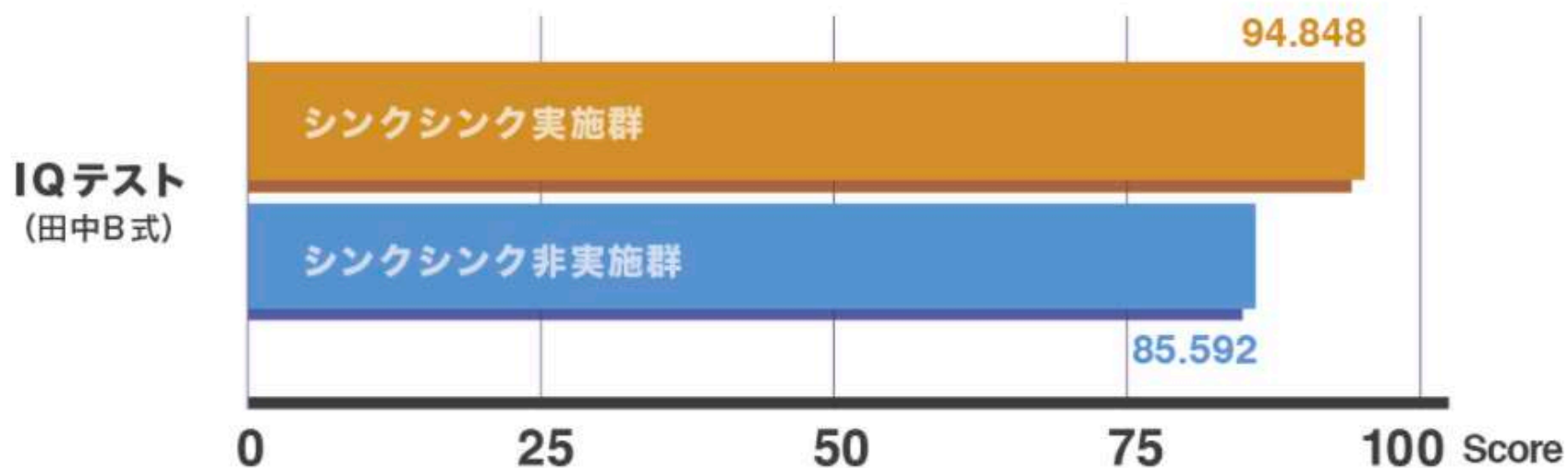
学力 (算数のテスト) への効果

国家学力テスト(3年生)



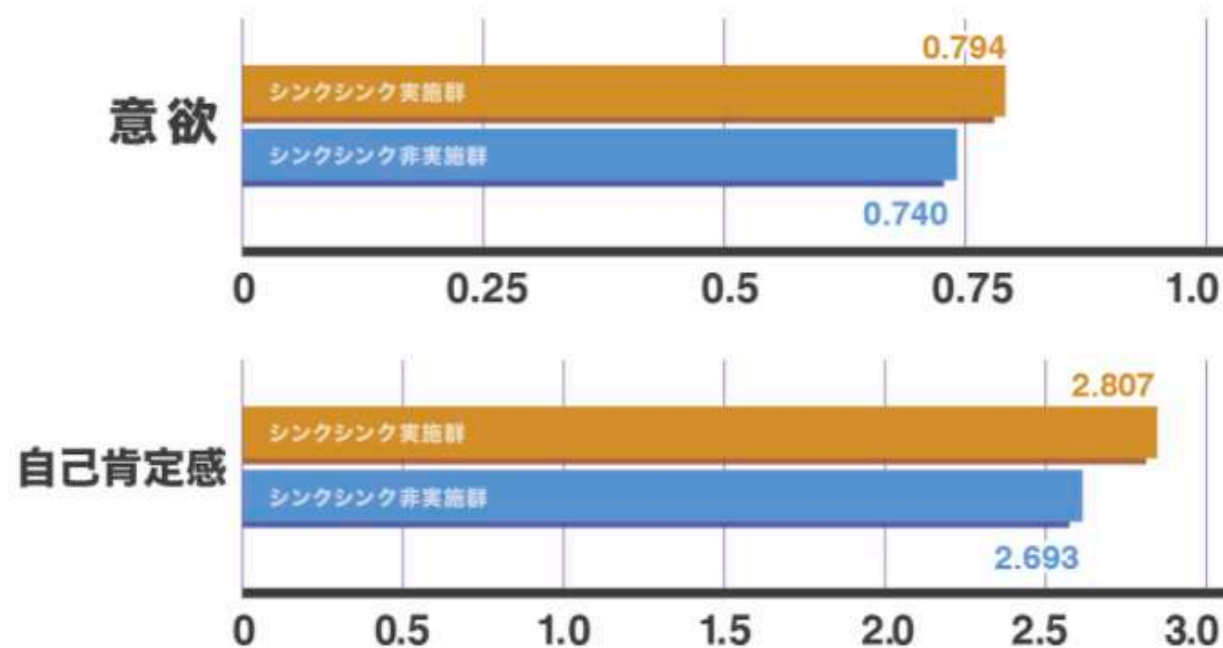
偏差値が平均6.9向上

IQへの効果



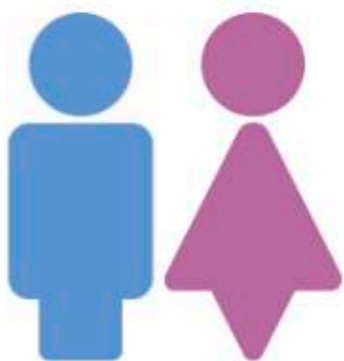
IQテストのスコアが平均9.3向上

非認知能力への効果



意欲と自己肯定感も統計上有意に向上

その子の属性によらず、
効果があることが判明



性別



学年



保護者の
学歴

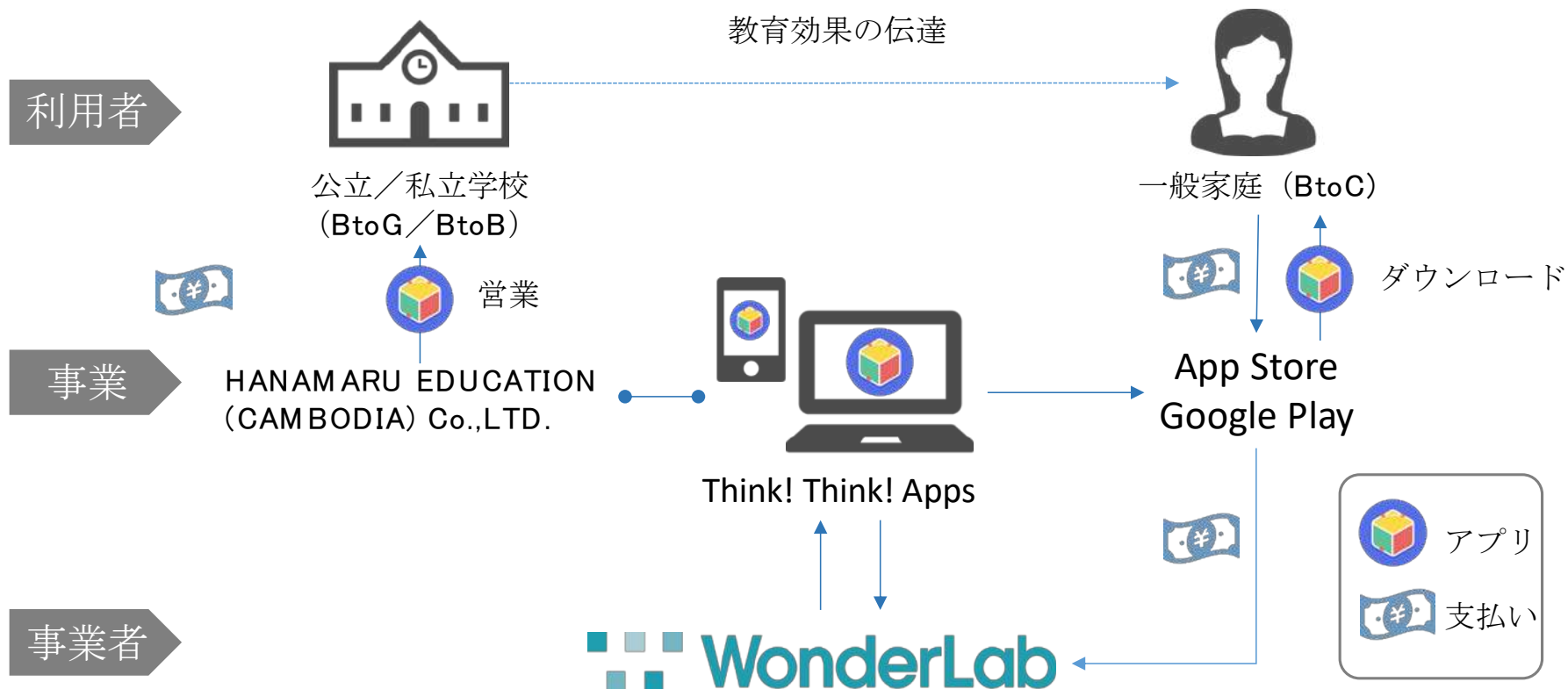
JICA普及・実証・ビジネス化事業（中小企業支援型）に採択され、2020年2月より事業が開始。

- 事業目的：アプリ「シンクシンク」を初等教育のパソコン授業に導入し、STEM学力が向上する事を実証し、アプリの普及と共に BtoB,BtoG,BtoCビジネスに繋げていく
- 事業期間：2020年2月～2022年6月
- 対象児童：6州8校 3,140名

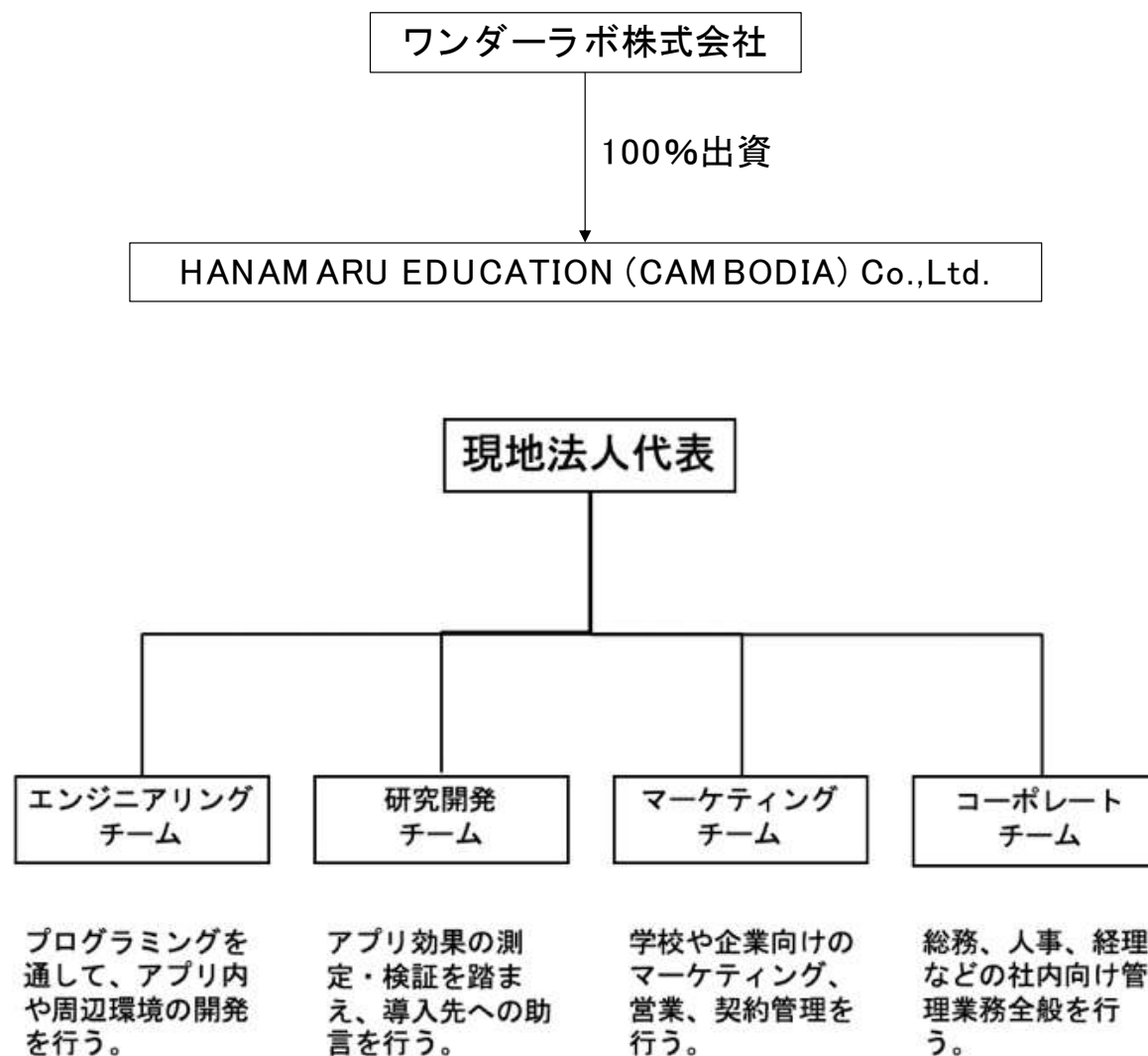


しかし2020年3月、新型コロナウイルスの影響で、パイロット校を含むカンボジア国内の学校が休校となり、計画を変更しながら実施中。

目指すビジネスモデル



カンボジアにおける現地体制



- 一. 【悲報】心から喜べないRさんの出世
- 二. 【衝撃】Windows革命前夜
- 三. 【葛藤】パンと水とアセスメントと
- 四. 【驚愕】先生・・・！！！！
- 五. 【苦悩】学校で効果検証することの難しさ
- 六. 【難題】子どもの熱意と保護者の不安
- 七. 【切実】パソコン普及の課題
- 八. 【奮闘】新型コロナを乗り越えろ

コロナ禍における対応（オンライン授業）

シンクシンク授業が開始された直後、2020年3月より、新型コロナウイルスの影響で、パイロット校を含むカンボジア国内の学校が休校に。

2020年4月、シンクシンクを用いたオンライン授業を無償提供する旨、教育省・JICA・ワンダーラボの3者間で合意。

教育省のFacebookページやYoutubeチャンネルを通して、オンライン授業を2ヶ月間無料配信することを決定。



教育省のハン・チュオン・ナロン大臣と



ワンダーラボ 東京本社からもオンライン参加

オンライン授業の概要

- 思考力向上をテーマとしたオンライン映像授業（30分）
- 2020年4月8日から、週3回2ヶ月間配信
- 視聴者にはシンクシンクを無償提供し、授業とアプリが連動



オンライン授業の反響

- 4月8日の配信初日から再生回数23,000となり、その後も継続的に20,000回前後を推移。
- 4月8日から5月13日まで計18回の平均再生回数は約23,000、「いいね」の数は992、シェア数は286、コメント数は1,307。
- パイロット対象州以外でもシンクシンクにアクセスしている事が確認。

[ホーム](#)[民間連携事業について](#)[支援メニュー一覧](#)[事例・参考情報](#)[公示・募集・説明会情報](#)[ホーム](#) » [過去の募集テーマ・イベント一覧](#) » [2020年度](#) » [ピンチをチャンスに！COVID-19下で力を発揮したアプリ教材（株式会社ワンダーラボ）](#)

過去の募集テーマ・イベント一覧

▼ 2020年度

▶ 2019年度

▶ 2018年度

▶ 2017年度

▶ 2016年度

▶ 2015年度

▶ 2014年度

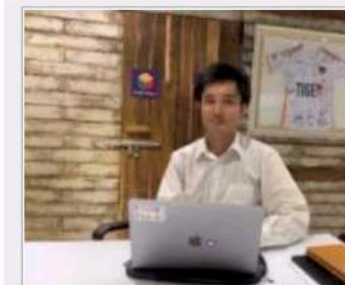
▶ 2013年度

ピンチをチャンスに！COVID-19下で力を発揮したアプリ教材（株式会社ワンダーラボ）

2020年11月11日

カンボジアの学校でアプリ教材「Think!Think!」の活用可能性を調査している株式会社ワンダーラボ。その取り組みがカンボジア国内で大反響を呼び、私立学校の15校約2万人の生徒に教材を利用してもらえることになりました。

今回、COVID-19のピンチをチャンスに変えた同社の取り組みについて、同社カンボジア法人代表の渡邊大貴さんにお話いただきました。



ワンダーラボ カンボジア法人代表
渡邊大貴（わたなべ・だいき）さん